

レベル	科目名	担当者 (ふりがな)	曜日・時限	教室	目標	内容	テキスト	成績評価法
2	日本語2総合A	横山 和子 (よこやま かずこ)	月曜・2限	N301	日本社会の理解につながる文章を読み、読解力をつけるとともに、テーマにそって自分の意見を論理的に表現できるようにする。	「好きな言葉」「教育」「外国人」の3つのテーマで、図書、新聞記事、統計資料などを読み、現代日本社会についての理解を深める。内容を予測しながら文章を読む力、読みとった内容を日本語で表現する力、物事に対する自分の意見を論理的に述べる力をつけることを目指す。	プリント配布	授業への積極性50%、活動(内容・日本語)50%
	日本語2会話A	荒井 直美 (あらい なおみ)	水曜・2限	N202	自分の考えや気持ちを伝えることができるようになる。具体的なまとった談話が理解でき、抽象的なものも流れが理解できるようになる。	自分の考えや気持ちを伝えることや、具体的なまとった談話が理解できるようになるために、テキストを使って会話練習をします。具体的にはペアワークやロールプレイ、グループディスカッションなどを予定です。課題の提出、授業連絡などにTeamsを使います。	清水果文編『みがけ！コミュニケーションスキル 中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話』スリーエーネットワーク	授業参加度(出席・授業態度)50%、 課題・会話練習の取り組み50%
	日本語2作文A	福島恵美子 (ふくしま えみこ)	木曜・3限	N301	自分の意見を述べ、待遇表現が使えるようになる。	説明文、描写文、意見文、エッセイ、メールなどの様々な文章を書き言葉を用いて書いて、自分が書いた文章を、語彙、表現、文法、構成の点から書き直す練習をする。また、ピアラーニングによる評価をすることもある。これらの活動を通して、書く力を伸ばしていく。	プリント配布	授業参加度(出席・授業態度)40%、 作文(評価シートを含む)60%
	日本語2文法A	新谷あゆり (しんや あゆり)	金曜・2限	N107	中級後半～上級の文法項目を習得する。	中級から上級の表現文型を機能別に学ぶ。練習問題や作文などを通して身につける。	プリント配布	参加度20%、 課題20%、 試験60%
	日本語2漢字A	増田里香 (ますだ りか)	木曜・2限	N305	750字程度の漢字とその漢字を使ったことばを学習し、運用できるようにする。	漢字の意味とその漢字を使ったことばの意味と使い方を学ぶ。今学期は、教科書の第2課、第4課、第6課、第8課、第10課を、2回で1課学習していく。クラスでは漢字から語彙を広げたり、漢字語彙を使った文を作ったり、グループやペアで調べて発表したりする活動を行う。また、毎回、語彙や漢字のクイズを行う。	『Intermediate Kanji Book 漢字 1000 Plus, Vol.1』凡人社[改訂第3版]	出席・参加度20%、 課題・発表20%、 クイズ・テスト60%
	日本語2講読A	工藤聖子 (くとう せいこ)	火曜・2限	N107	具体的な文章内容で、ある程度の長さの文章が読めるようになる。	新聞記事、エッセイ、評論、短編小説など様々な文章を読む。談話の構成も意識しつつ、語彙や文の意味に注目しながら、日本語の表現を学ぶ。読んだ文章の内容について話しあったり、内容をまとめたりする。適宜語彙テストを行う。また、毎回授業の初めに速読の練習を行う。	プリント配布	授業への参加度 30%、 宿題の提出 20%、 クイズ 20%、 試験 30%
	日本語2聴解A	近藤智子 (こんどう ともこ)	木曜・1限	N405	具体的なまとった談話が理解でき、抽象的なものも流れが理解できるようにする。	「日本語が理解できた」から「テーマへの理解が深くなった」と自分で思えるような聞き方を目指す。そのために、「ことば」や「表現」「文法」を理解する聞き方ではなく「情報を取得できる」聞き方へと発展させていく。さまざまな表現に耳や口を鳴らすために、シャドーイングを日課とする。	プリント配布	平常点(出席・授業時の課題提出・話し合いへの参加度)50% 授業外の課題への取り組みと提出 50%
	日本語2特別演習A 【マンガで学ぶ日本語】	宮本典以子 (みやもと ていこ)	水曜・1限	N313	話し言葉やマンガ特有の表現が理解できるようにする。	日本のマンガの鑑賞(かんしょう)を通して、話し言葉を実践的に学ぶ。学園や社会、ファンタジー等さまざまなジャンルの作品を扱う予定。言語表現はピア活動等で学ぶ。 ・授業の始めに「マンガ多読タイム」を取る。読後、記録シート記入。 ・また毎回、課題シートを提出。 ・日本のマンガやアニメに関する発表も1回行う。	プリント配布	提出物(課題シート、多読シート等)50%、 授業参加度(振り返りコメント、ピア活動、発表・交流活動等)50%
	日本語2特別演習A 【ビジネスで学ぶ日本語】	笹目実 (ささめ みのる)	月曜・1限	N305	ビジネス場面で使用する日本語を話し、理解できるようにする。	社内や社外でどのような日本語を使って会話をするかモデル会話を学習してから、状況を決めてロールプレーを行う。アルバイトの面接のときなどにどのような会話をするのかを練習する。大学生が就職する時、どのような過程を踏んでいくのか学習する。ビジネス場面でどのように敬語を使用するのかを理解し、ロールプレーなどを通して学んでいく。自国の就職状況や会社などに関して発表する。	プリント配布	授業参加度(出席・授業態度)50% 発表30% 課題20%
	日本語2特別演習A 【発音】	石崎 晶子 (いしざき あきこ)	火曜・1限	N313	日本語音声の特徴を学び、聞き手にとってわかりやすい話し方を身につける。	日本語の音声の特徴を学ぶとともに、詩や物語の朗読、プレゼンテーションなど、聞き手に伝わりやすい話し方のポイントを練習する。インターネットや音声ソフトを利用した練習のしかたも紹介する予定。	プリントを配布する。	授業への参加度50%、 課題および発表50%
	日本語2特別演習A 【アカデミック】	許 夏玲 (ふい はーりん)	月曜・3限	N301	大学生活に必要と考えられる日本語表現を具体的に学び、アカデミックな場面で適切に日本語が使用できる実践力を身につける。	授業の前半では、主に文章表現(書き言葉)を中心に取り上げる。具体的な内容はレジュメ・小論文・レポートの書き方などを扱う。後半では、PPT発表、ポスター発表のための必要な発表内容の構成や表現を学び、日本語によるプレゼンテーションを行う。授業ではピア活動やグループ活動も重視する。プレゼンテーションのテーマについては、受講学生の関心に応じて設定する。	プリントを配布する。	授業への参加度50%、 課題(発表を含む)30%、 レポート20%
	日本語2・3特別演習A 【多読】	桂 千佳子 (かつら ちかこ)	金曜・1限	N313	辞書(じしょ)や参考書(さんこうしょ)を見ないで、母語(ぼご)にやくさないで、日本語を「勉強することば」から「自分で使えることば」にする。	4つのルールを守(まも)って、「多読の読み方」で教室にある好きなものを読みます。わからないことばがあっても辞書(じしょ)で調(しら)べません。メモもしません。「楽しい気持ち」で、どんな読む「多読(たどく)」をします。読書記録をつけ、「おすすめの読み物」はみんなに発表(はつぷよう)し、その中から面白(おもしろ)いものを読む「ブックトーク」もします。読みものは、「みんなで共有(きょうゆう)」できるもの」とします。「日本語を読んで勉強する」のではなく、「日本語の本で遊ぶ」授業です。	*読むもの ①教室に準備してある本 ②授業時に紹介したサイトなど (自分だけの本は読みません)	読書記録(どくしょきろく)25% 授業時の取り組み(とりくみ)25% ブックトーク(発表)25% 学期末プロジェクト 25%